

第6次湖西市総合計画(案)に関するパブリックコメント募集結果と市の考え方

No.	頁	項目	ご意見・ご提言	市の考え方	修正箇所
1	14	KOSAI 2040①安心して暮らすことができるまち	「地域ぐるみで助け合い」、どの様なしくみづくり、施策が講じられるのか？	防災、福祉など戦略①の施策に記載のとおりです。	
2		基本構想全般	基本構想の中に、SDGsの考え方は入らないのですか？実践計画から入ってくるので、唐突感があります。併せて、「カーボンニュートラル」についても、湖西市の考え方を示すべきと考えますが、いかがでしょうか。基本構想に湖西らしさが伺えないのが残念です。	SDGsのゴールは2030年となっています。基本構想は2040年の理想の姿としているため、SDGsの考え方は、実践計画に記載しています。カーボンニュートラルについては、今後国が示す考え方を整理し、市として何ができるか検討していきます。	
3	18	将来人口ビジョン	2020年のベンチが58197人？住民基本台帳12月59057人 ▼860人口ジックは？なぜ、市民にとって分かりやすい(毎月更新)住民基本台帳の数値を用いないのか？P48の市街化区域内の人口目標は住民基本台帳の数字で管理すると記載があります。	ご指摘のとおり、将来人口ビジョンでは、国勢調査の結果を基に人口を推計しています。国勢調査は5年ごとの実地調査で普段住んでいる場所でカウントされます。一方、住民基本台帳は、住民票に登録された人口で、住所の変更手続をせず転居している人がいるため、国勢調査結果と人口に差が生じます。基本構想は長期的な推計が必要なことから、国勢調査の結果を基に算出しており、実践計画の目標値は毎年の進捗管理が必要なことから、住民基本台帳の人口で管理します。	
4	18	将来人口ビジョン	希望出生率 希望出生率1.8の設定根拠は？国が求める数字をスライドしているのでは？自治体によって環境が異なり、各自治体で、目標設定すべきと思いますが、湖西市の生産年齢人口が減少する中で出生数を増やすロジックの説明を求めます。	希望出生率は、記載のとおり国立社会保障・人口問題研究所の資料を基にしております。出生数を増やすために、職住近接を推進するとともに、安全安心なまちを実現し、ファミリー層の転入を促進します。	
5	32	1 防災	防災訓練参加者>KPI 25%で良いのか？	実績に基づき、現状よりも多くの方に訓練に参加していただくようKPIを設定しました。自主防災会と連携をして参加率向上を図ります。	
6	32	1 防災	市民が求める災害への備えに対して、何が不足していると認識しているのか？	市民意識調査での設問は、「あなたは地震、津波などの災害への備えができていますか」というものです。市の備えに関する設問ではないため、計画書の表記を正しく理解していただくよう修正します。市民の方の備えに関しては、「十分ではないが一部できている」、「できていない」と回答された方が一定数以上いますので、今後も周知啓発を図っていきます。	1 防災 施策の成果指標名「市民が災害への備えができていて感じる割合」を「災害への備えができて市民の割合」に修正します。
7	36	3 消防・救急	火災出動件数の目標設定根拠は何か？火災報知器設置率は高齢者住宅が低いのでしょうか？現状の火災の発生原因との相関はありますか？	市内の2019年中の火災件数は21件であり、過去10年間の平均火災件数は19.8件となっております。各種安全装置の普及、野焼きの禁止等により、建物火災、その他の火災(枯草等)が減少し、ほぼ底値と考えています。火災発生件数20件以下を維持できるような火災予防啓発に努めていきます。住宅用火災警報器の設置率について居住者属性別の統計データはありませんが、70歳以上の一人暮らし高齢者住宅の防火診断を毎年実施しており、令和元年6月1日時点の全国設置率82.3%をKPI目標としています。また、令和元年中の全国の住宅火災による死者の約4分の3が65歳以上の高齢者となっております。また、住宅火災における死者の発生した経過は、逃げ遅れが全体の49.4%となっていることから、高齢者宅に重点を置いて住宅防火対策の推進を図ります。	
8	36	3 消防・救急	救急指導者育成を目標値に設定した方が成果が大きいのでは？	救急指導者の育成は、有事の際、その場に居合わせた家族や関係者による適切な応急処置の実施を促し、確実に助かる命を救うことを目的として、一般市民にその知識と技術を積極的かつ効率よく普及するものであります。育成人員数を容易に把握でき、蘇生事例や予後が良好な推奨事例は多く確認されていますが、救急出動の減少に繋がっていないのが現状であります。救急出動は増加傾向で、管外病院への搬送が多く、出動に要する時間が長時間化することにより、救急車の現場到着時間が年々遅延傾向にあることが課題となっております。救急車の適正利用について、様々な角度から市民に訴え、今後の救急出動の増加に歯止めをかけることが大きな目標であります。	
9	38	4 地域医療	市民が求める地域医療に対して、何が不足していると認識しているのか？ホームドクター制度を充実させてはどうか。	超高齢社会を迎え、地域包括ケアや在宅医療の充実が必要と認識しております。ホームドクター制度については、今後の検討材料のひとつとさせていただきます。	
10	44	7 廃棄物・上下水道	循環型社会の形成において、ゴミのリサイクル率をKPIに設定しないのはなぜか？また、ゴミアプリの登録でどれだけの成果が見込めるのか？目標設定の根拠が不明です。手段が目的になっていませんか？	ごみのリサイクル率は、焼却灰の取り扱いについて、現状の委託処理と今後の焼却再稼働の基準が異なり、比較ができないことから別の指標としました。KPIとしては、ごみ分別アプリの登録者数を向上させることにより、ごみと資源物の分別意識の向上を図り、ごみの排出量の削減を目指します。	
11	44	7 廃棄物・上下水道	水道事業の課題は経常収支比率か？市民ニーズは安全で安定した給水と認識するが、課題の本質は漏水や、配管の耐震化率では無いのか？市民目線の目標設定とは思えません。	水道事業が抱える人口減少に伴う水道料金の減少や水道施設の更新費用の増大などの経営課題に対し、長期的な視野に立って安心・安全かつ持続可能な事業運営を行うことが、安全で安心な水の供給や、漏水対策・管路の耐震化率の向上につながると考え、経常収支比率を施策の成果指標としました。	

第6次湖西市総合計画(案)に関するパブリックコメント募集結果と市の考え方

No.	頁	項目	ご意見・ご提言	市の考え方	修正箇所
12	44	7廃棄物・上下水道	市民は下水道化を求めているのでしょうか？機能的には合併浄化槽で間に合うのではないかと？下水道事業としての損益分岐点は何戸接続すれば良いのか、明確に示すべきでは。	第6次湖西市総合計画の策定に向けた市民アンケートの調査結果によると、下水道施設の整備・普及を含む生活関連施設の整備については、満足度・重要度とも平均値を上回っていますが、まだまだ市民の理解が十分ではないと認識しています。今後、市民に対し下水道事業の担う役割・必要性等について十分理解してもらえよう努めていく必要があると考えます。損益分岐点等、事業の経営に関する事等については、下水道事業の個別計画により検証してまいりたいと思います。	
13	46	8道路	人口減少、次年度以降の財政状況を考えると、インフラ整備は厳しい状況と推測します。市民の安全性を重視したプライオリティを付けて、事業計画を進めて欲しい。	持続可能な社会を構築することを見据え、厳しい財政状況の中、効果的・効率的な事業を実施していく必要があるため、通学路、緊急輸送路の指定等の状況や、周辺の土地利用などを勘案し、優先順位を決めて、事業計画を進めていきたいと考えます。	
14	52	10結婚・出産・子育て	施策の成果指標について、30%以上の子育て世代が住みやすいと思っていない要因は何か？	市民意識調査では、「なぜそう思うか」の設問を設定していないので、今後の調査で要因を確認できるよう、設問を検討していきたいと考えています。	
15	52	10結婚・出産・子育て	保育の充実において、質の高い教育、保育とはどのようなものか？市立幼稚園の統廃合、民営化によるクオリティの強化が期待されます。	保育の質、教育の質という明確な定義はありません。ここでは、一般的な意味での「より良い教育・保育」を表現しています。より良い教育・保育を展開していくために、絶えず、一人ひとりの職員についての資質向上及び職員全体の専門性の向上を図るように努め、保育・教育の「環境」、「人」、「内容」を充実させていくことで子どもたちが心身ともに満たされ、より豊かに生きていくことを支えていきたいと考えています。市立園の統廃合や民営化については、地域の実情や園児数の推移を注視して検討していきます。	
16	52	10結婚・出産・子育て	放課後児童クラブの目的は保育か？コミュニティスクールの観点から、地域教育の場でもあるはずで。児童クラブのクオリティを上げて欲しい。	放課後児童クラブは、保護者が就労等で養育できない子どもを対象として、放課後の時間帯における安全で安心して過ごせる場の提供によって子どもの健全な育成を図ることを目的としています。場の改善を行いながら、併せて質の向上も図っていきます。	
17	54	11学校教育	KPIIについて 教育環境の整備課題は「トイレ」の洋式化でしょうか。トイレが洋式化されることで、学校が楽しいと思えるのでしょうか。理想の学級数、1クラスの児童生徒数を踏まえた学区の編成、学校の統廃合も計画に含めるべきと考えます。	教育環境の整備については、子どもたちの安全安心を最優先としており、公共施設再配置個別計画をもとに学校の大規模改修を計画的に進めていく中で、優先度の高いトイレの洋式化をKPIIとしました。理想の学級数などについては、総合計画には記載しませんが、湖西市教育振興基本計画には記載し、研究を進めて参ります。	
18	54	11学校教育	ICT教育を進めた先の成果は何を見込んでいるのでしょうか？それが成果目標になるのでは？	児童・生徒が「情報活用能力」を育むことを目指していきます。機器を使うことは目標ではなく手段だと考えます。機器を活用して学ぶことが重要だと考えておりますので、機器の活用時間など限定的な成果目標は設定しておりません。	
19	54	11学校教育	次年度から始まるコミュニティスクールについて、湖西市の目指す姿を示して欲しいです。総合計画に記載が無いのは残念。	コミュニティ・スクールは令和3年度は試行、令和4年度から本格実施する予定です。総合計画には記載しませんが、湖西市教育振興基本計画には記載する予定です。	
20	56	12生涯学習・スポーツ振興	生涯学習とスポーツ振興は、健康寿命の向上に直結しています。福祉部門との連携強化を期待しています。	ご意見として承ります。今後も福祉部門と連携し、健康長寿に取り組んでまいります。	
21	56	12生涯学習・スポーツ振興	図書館を拠点とした活動強化について、どのような活動が行われるのか不明で、その成果が貸出数の増加に繋がるのでしょうか？イメージが出来ません。	図書館が学びの拠点となり、さまざまな生涯学習活動が広がっていくよう、資料の充実や本に親しむ活動を実施することで、読書への興味関心につなげていきます。	
22	56	12生涯学習・スポーツ振興	湖西市のスポーツの特色が見えません。KOSAI2040のキーワードは「ひと・自然・業」です。恵まれた自然を活かしたスポーツの推進が必要だと思います。	ご指摘のとおり、本市は浜名湖、遠州灘、湖西連峰に代表されるように、自然環境に大変恵まれた地域であります。今後は本市の豊かな自然を活かして行なわれるマリンスポーツやマウンテンスポーツイベントへの支援策等について検討してまいりたいと考えております。	
23	58	13共生社会	湖西市の外国人比率が5.8%有ることを踏まえると、施策ニーズの重要度が低い事が課題ではないでしょうか、とりわけ、就学時の日本語教室の充実が急務です。湖西に来て良かったと思ってくれる外国人の比率をKPIIにしてはどうでしょうか。	個別計画である第3次湖西市多文化共生推進プランにおいて、「日本人市民に親しみを感じる外国人市民の割合」という指標を新たに設定しました。この指標で外国人市民の湖西市での満足度をある程度把握することができると考えています。	
24	62	14ものづくり産業の活性	豊田佐吉翁生誕150年企画の時に「佐吉道場」の構想がりましたが、一時的なイベントではなく、次期総合計画にも内容を引き継いでいただきたい。	ご意見として承ります。佐吉翁の精神を受け継ぐ考えは、実践計画の「14ものづくり産業の活性」だけでなく基本構想にも記載しています。	
25	62	14ものづくり産業の活性	湖西地区職業訓練センターの位置付けについても触れられていません。訓練センターをモノづくりの拠点として人材育成を進める構図がスマートだと思います。	ご指摘を踏まえ今後の施策を検討して参ります。	

第6次湖西市総合計画(案)に関するパブリックコメント募集結果と市の考え方

No.	頁	項目	ご意見・ご提言	市の考え方	修正箇所
26	64	15就業支援	施策ニーズとして、重要度は高いが、満足度が低くなっている要因の分析は出来ていますか？	様々な施策を実施していますが、それが十分に周知できていないのではないかと考えており、より効果的な周知の方法を模索しています。	
27	64	15就業支援	小中学校から地元企業との連携によりキャリア教育を充実させて就業に対する考え方を定着させる必要があると思います。	ご指摘を踏まえ今後の施策を検討して参ります。	
28	64	15就業支援	ものづくり人材交流センターは機能していますか？KPI設定の妥当性を伺います。	ものづくり人材交流センターにおける無料職業紹介を通じた就業数は、2016年以降徐々に増加しており、その役割を十分に果たしているものと考えております。また、少子高齢化社会の進展に伴う労働者の不足等に対応していくためにも、今後もしっかりと取組んでいく考えであり、当該KPIを設定致しました。	
29	66	16工業・商業	戦略方針にある「市内でより多くのお金を循環させる稼ぐまち」「賑わい創出につながる取組み」の記載があるが、お金を循環させるしくみとはどのような仕組みか？また、賑わいとは何か？個別計画は策定されるのか？	市外からの通勤者により屋間の人口が約1万人多いにも関わらず、市内で十分に消費行動がとられていない現状を踏まえ、魅力的な商業施設の誘致や空き店舗の解消による商業の活性化に取組んでまいります。個別計画については、現時点では策定を予定しておりませんが、今後必要に応じて検討してまいります。	
30	66	16工業・商業	施策の成果指標について、個店をはじめ、中小企業の事業承継が困難な環境下において、事業所数の確保をどの様に行うのかイメージが出来ない。KPIの積み上げでは目標達成困難ではないか、現状をどの様に把握しているのか、商工会等、現場確認されているのか不安です。	事業承継は重要な課題であり、平成30年度から湖西・新居の商工会と連携して事業者に対する個別訪問や支援期間への引継ぎ支援策を実施しており、今後も継続的に取組むとともに、企業立地や空き家の利活用を促進することで、成果指標を達成できるよう努力してまいります。	
31	68	17農業・漁業	100年に一度の産業構造の変革期と言われる中で、農業・漁業の役割は大きいと思います。農地の集約化はもとより、工業系企業との連携による省力化や生産性の向上が期待できます。行政の役割として、農業と工業の積極的なマッチング事業の展開を望みます。	ご指摘を踏まえ今後の施策を検討して参ります。	
32	68	17農業・漁業	漁業においても、あさりに続いて牡蠣の収穫量が激減している中で、事業の継続が困難になっていることをどの様に把握して、対応しようとしているのか計画の中から読み取れません。	総合計画には個別対策を明記しておりませんが、現在、浜松市、静岡県、浜名漁協等と、資源回復のため協同して取組んでおり、今後も引き続き事業の継続性が確保できるよう支援してまいります。	
33	72	18住環境	土地の有効活用促進KPI設定において、ベンチマークが2016年と5年前のデータを使用しているのはなぜか。未利用地の定義は明確になっていますか？市街地内の畑や森林については、有効利用されていると判断しますか？	都市計画法に基づき、5年ごとに行う「都市計画基礎調査」によりKPIの実施状況を確認するため、直近の2016年のデータがベンチマークとなっています。また、未利用地の定義は「田・畑・樹園地・採草地・山林・その他の自然的土地利用」となります。	
34	72	18住環境	施策の成果指標において、市街化調整区域内から市街地への誘導は何人を見込んでの設定でしょうか？	総合計画では、まずは市街化区域内の未利用地解消をKPIとしており、その成果として市街化区域内の人口を極力維持していくことを施策の成果指標として設定しています。そのため、市街化調整区域から市街化区域への誘導という考え方では設定していません。なお、個別計画の立地適正化計画の中で居住誘導区域内の人口密度をKPIとしています。	
35	72	18住環境	畜産臭気対策には最重点課題として、有効な成果を期待しています。管理はどちらの部署でしょうか？	臭気の状態などの監視は環境課、畜産業者への指導や支援は産業振興課が担当し、両課が連携し対応していきます。	
36	74	19自然環境	KOSAI2040キャッチフレーズ「ひと・自然・業」の自然は戦略④の交流の中でどのような位置付けと役割を果たすのか？湖西の自然環境のどこを維持するのか、開発するのか環境基本計画においても不明確です。森林保護、海洋保護どちらも示されていません。恵まれた湖西の山、湖、海を資産として運用して欲しいです。	浜名湖や太平洋、湖西連峰などの自然や公共施設等の花壇は、安らぎと潤いを提供するもので、これら湖西の魅力やPRすることで、関係・交流人口を拡大し、移住・定住へとつなげていきます。環境に関する情報提供や学習会など、本市の自然環境に愛着と誇りを持っていただき、さらには優れた環境を保全し、次世代へ引き継ぐことを目指していきます。本市の貴重な財産である自然環境については、静岡県が定めた浜名湖県立自然公園の区域など、関係法令に基づき適正に保護していきます。	
37	76	20観光振興	観光を産業と捉えるのか、定住促進と捉えるのか、事業の目的が不明です。	観光は産業と定住(交流)促進の両方の側面を持っていますが、今回の計画では新たに戦略のひとつとした「交流」の中に位置づけています。	
38	78	21移住定住促進	施策の成果指標、KPIについて、支援制度(住もっか・新婚さん・わ〜くわく)事業は2040年まで継続ですか？	現在の制度が2040年まで継続する訳でなく、見直しを定期的に行い、ニーズに沿った効果的な支援事業を実施していきたいと考えています。	
39	78	21移住定住促進	施策ニーズについて、満足度が低くなっている要因は何と、分析しておられますか？ニーズと、基本事業の内容はマッチしていますか？	移住定住におけるニーズは多岐に渡っており、その全てを満たすことは難しいと考えますが、多くの方に満足いただける支援制度を常に研究していきたいと考えています。	

第6次湖西市総合計画(案)に関するパブリックコメント募集結果と市の考え方

No.	頁	項目	ご意見・ご提言	市の考え方	修正箇所
40	82	22デジタル・スマートシティの実現	行政サービスのデジタル化は推進すべきですが、全ての市民がネット環境に繋がっているのではないので、地域コミュニティの拠点で利用(リモート)できる体制を構築すべきと思います。(市民課・税務・福祉・相談etc)	ご意見として承ります。 なお、行政サービスのデジタル化は、手段のひとつであり、従来の手段が損なわれる訳ではありません。	
41	82	22デジタル・スマートシティの実現	スマートシティはブランドの要素があり、各自治体でも民間との連携により、取り組みが進んでいます。湖西市においても、立地適正化、居住誘導区域を対象とした計画を示して欲しかった。	今後、先進事例を参考に、教育、子育て、医療、福祉、産業等の様々な分野において検討し、DX推進計画に反映していきたいと考えています。	
42	82	22デジタル・スマートシティの実現	庁内事務の効率化は当然の業務なので、総合計画に記載する項目では無いと考えます。内部統制に期待します。	市民サービスと庁内事務は連動する要素もあり、DX推進に欠かすことのできない要素のため掲載します。	
43	84	23行政経営	施策の成果指標について、財政調整基金の残高が成果指標になる根拠が解らない。事業を止めればお金は余るし、市民ニーズとのバランスが大切では？	事業を進めていく中でも健全な財政運営が求められます。災害等への緊急対応や将来を見据えた施策展開のために一定の残高を確保した上で事業を推進することが必要であると考えます。 今般の新型コロナウイルス感染症への対応においても、対策事業費の歳出の増に加え、税の大幅な減収による歳入の減が見込まれる中、財政調整基金を活用し事業を推進しており、非常時に計画した事業を止めないための指標とらえています。	
44	84	23行政経営	人口減少に伴い公共施設の統廃合は必要と考えます。市民への丁寧な説明を行い、着実に進めて戴きたい。	将来の人口規模や財政規模に見合った公共施設の適正配置のため、統廃合の推進が必要不可欠となっています。統廃合の際は、早い段階での周知及び丁寧な説明を行い、着実に進めてまいります。	
45	84	23行政経営	事務事業評価の方法について、客観的な評価が行われているかが疑問。専門家や市民を交えたモニターが必要です。	ご意見として承ります。 事務事業評価については、適正な手法を検討していきます。	